

町屋光明寺について

当山の歴史は、古くは千二百年前の延喜式神名帳に記載された由緒正しき意富布良(大洞)神社から始まります。その神社はいつしか神仏一体神宮寺となり、室町時代には京都本願寺第八代ご法主の蓮如上人の教化によって、神社と寺院が分離されました。その寺院が町屋光明寺の祖となる近江祖坊となりました。

その後、いくつもの時を経て岐阜・京都・東京・千葉などにそれぞれ寺院を建立し、町屋光明寺は東京における拠点の一つとして親鸞聖人よりつくづく他力念仏の教えを今に伝えています。



- ◎ 公共交通機関 東京メトロ千代田線町屋駅徒歩3分
都営荒川線町屋駅前駅徒歩3分
京成電鉄町屋駅徒歩2分
- ◎ お問い合わせ 町屋光明寺・寺宝展準備委員会
東京都荒川区荒川 7-5-8
電話：03 (6806) 5394

- ◎ 後援 荒川区教育委員会
- ◎ 協賛 朝日屋町屋店 うみまる (有)オリオン機工
(株)かどのみせ 玉乃家 宮川屋酒店 (50音順)

町屋光明寺 落慶法要記念

本願寺・寺宝展

「東本願寺と江戸幕府」



徳川家康公



本願寺十二世教如上人



町屋光明寺 落慶法要記念

本願寺・寺宝展

「東本願寺と江戸幕府」

期間：平成30年4月21日～5月6日

4月21日・22日は
落慶法要参詣者のみ

午前10時～午後5時（入場は午後4時30分まで）

場所：町屋光明寺 東京御廟本館 久恩殿

東京都荒川区荒川7-5-8

※駐車スペースはございませんので、公共交通機関または近隣のコインパーキングをご利用下さい。

東本願寺は、

徳川家康公と本願寺十二世教如上人との

盟友とも言える信頼関係から生まれました。

今を遡ること四百年、

豊臣秀吉により

本願寺法主の座を奪われた

教如上人に旧東本願寺地を与え

東西分立を強く勧めたのが、

他ならぬ家康公なのです。

当山では落慶法要において、

本山本願寺御門跡台下の

御親修を賜るに当たり、

本願寺と縁の深い

家康公ゆかりの品々を

本山本願寺からお借りして

特別展示公開いたします。

関ヶ原合戦前夜、

下野小山の陣中において教如上人が

家康公よりいただいた馬具、

軍扇や貴重な書簡等を東京初公開。



《展示予定》

- 櫻欄時絵鞍 慶長五年教如上人が家康公より賜る
- 櫻欄時絵鐘 慶長五年教如上人が家康公より賜る
- 東照宮御廟之霊牌
- 徳川家康公御消息
- 徳川家康公日課名号
- 東照宮神像 東叡山毘沙門堂開基公海僧正筆
- 成然上人消息 など